

議 会 運 営 委 員 会 理 事 会 記 録

令和4年3月25日（金）

杉 並 区 議 会

目 次

特別委員会について	3
-----------------	---

議会運営委員会理事会記録

日 時	令和4年3月25日(金) 午前9時58分～午前10時26分	
場 所	第3・4委員会室	
出席理事 (8名)	理事 大 泉 やすまさ 理事 島 田 敏 光 理事 奥 山 たえこ 理事 新 城 せつこ	理事 井 口 かづ子 理事 山 田 耕 平 理事 太 田 哲 二 理事 岩 田 いくま
欠席理事	(なし)	
理事以外の 出席議員	副議長 山 本 ひろ子	
出席理事者		
事務局職員	事務局 長 渡 辺 幸 一 庶務係 長 久保井 悦 代 担当書記 出 口 克 己	事務局次長 内 藤 友 行 議事係長 蓑 輪 悦 男

(午前 9時58分 開会)

大泉理事 ただいまより議会運営委員会理事会を開会いたします。

《特別委員会について》

大泉理事 初めに、特別委員会について、事務局から説明をお願いいたします。

議会事務局次長 それでは、資料1を御覧ください。

先日の議運理事会におきまして協議を開始した特別委員会についてですが、先日の議運理事会において、各区の特別委員会の設置状況について、事務局が情報の収集を行うということになっておりましたので、各区の設置委員会一覧を作成したところです。事前に各理事にはLINE WORKSにて送付しております資料と同じものです。これらの資料を御活用いただきながら、御協議いただきたいと思います。

大泉理事 ただいま御説明いただいた一覧の件について、何かございますか。——なければ、協議に移りたいと思います。

一応、前回の会でもお話をしたとおり、オリンピック・パラリンピックが終わり、また議会改革についても、議会基本条例が制定を見たといったところから、今後の特別委員会をどうするかということで、各区の設置状況を事前に各理事の皆様方にお送りしております。

それをもって、各会派の中で御議論があったのかなと思いますけれども、それぞれどういった形だったのかというのを御議論いただきながら、今日の理事会で、比較的合意がいただけそうなものに絞り込んでいくという作業をしていければなというふうに考えております。

まず先に自民党から言いますと、ここにいろいろ各区の状況が並んでおりますけれども、比較的うちの会派の中で話題に上がったのは、やはり行政のデジタル化ですね、自治体DX。これを取り上げている世田谷区さんだとかありますけれども、そういったところは比較的意見が上がっていた。あとは気候危機だとか、そういったところの話も出ておりました。細かいところでいうと、子育て系とかでも話がちょっと出てはいましたけれども、そういったのが、大きな、ざっくりとした意見ということで出てきたという状況があります。

ほかの会派の皆さんはどういった御意見があったかということをお聞かせいただければと思うんですけれども。

奥山理事 今4つ委員会ありますけれども、必ず4つなきゃいけないのかなというか、数が先にありきで、1つ、2つ欠けそうだから何かつくろうかというのは、ちょっと順番

が違うかなというのがあります。

それからあと、やるからにはちゃんとしたもの、もちろん有意義なものってありまして、常任委員会とちょっと違うかなと思うのは、テーマがあって、執行部から説明を聞いて、それに対して答えるだけではなく、自分たちがテーマを一生懸命掘り込んでいくというか、場合によっては視察に行く、それで報告書は自分たちで作るとか、何かそんな、常任委員会と違うようなものもあったほうがいいかなというぐらいです。まだ具体的にはなかなか決まりませんので、話しているところですので、今日お聞きしていきたいのは、回答期限はいつ頃になるのかなということなんかもお聞きしたいです。

大泉理事 数と期限ということですが、数については、現状が4つということではありますが、必ずしも4つに縛るものではないというふうに考えています。意見の中では、常任委員会が5つあるので、5つでもいいんじゃないかという意見もありましたし、そういったことも含めて、この理事会の場で御意見を伺ってというふうには思っております。

期限についてですけれども、最後に今後の予定としてお話をさせていただこうかと思っているんですけれども、何にしても、5月の役員、委員会改選のときに間に合わせるということである、逆算をしていって大体4月8日金曜日のあたりにまた議運の理事会を持ちたいなと思っています。そこまでに各会派の中で御意見をもんで、8日に持ち帰ってきていただくというようなイメージをしているところです。

ですので、今日の段階で多岐にわたり過ぎてしまうと、なかなかその絞り込みも難しいのかなということで、今日の御議論の中である程度のところまでは絞り込んでいって、各会派で御意見を伺っていただければなというふうに考えています。

内容については、現状の特別委員会でも、例えば視察に伺ったりというのはあったかと思うんですけれども、今コロナの状況なんかもありましたから、このところはないという状況ではありますが、必要に応じてというのは、各委員長の判断も含めて、よろしいんじゃないかなというふうに思っています。

島田理事 会派で検討はいたしました。今自民さんがおっしゃったように、DXに絡んでは、時代的にも必要になってくるのかと思います。新しい部署もつくられたようですので、その辺もしっかり議会としても検討していくべきだろうと思っております。

それから、数の問題については、議会改革がほぼ完了したのかなということで、あとは議運で引き取ればいいかなという感じはしております。

それから、文化芸術・スポーツの中で、オリパラが終わったということで、それは省くにしても、文化芸術だけだとなかなか厳しいかなという感じはしますので、そこに観

光ですとかフィルムコミッションですとか、そういったまちなぎわい関係を入れたらどうか。これを一緒にして1つの特別委員会にしたらどうかというふうに思います。

それから、保健福祉委員会が毎回、報告事項も多く、また議案も多いということで、何か取り出せないかなというふうに思っていたんですが、時限的に、児相の問題をピックアップしてやってもいいのかなという感じはしております。

毎年言っていますけれども、できれば、道路交通については、都や国の問題がほとんどになっているので、この辺を少し変えていかないといけないんじゃないかという感じはずっと持っているわけです。委員会を開いても、直接答える人がいないという状況で、本当に状況確認だけ。外環道の問題はまだ続いておりますけれども、都市環境委員会で十分かなという感じはしています。

そんなところです。

大泉理事 今幾つか、具体的な例も含めてお出しいただいておりますけれども、ほかの会派はいかがでしょう。

山田理事 まず、連携さんが言われた前提の部分なんですけれども、私も、現状4つというふうになっているんですけれども、4つでなくてもいいのかなと思っていて、特に、4つになると、1委員会にかなりの議員が密集することになって、議論も、活性化する部分もあるんですけれども、かなり長くなったり、終わりが、なかなか午前だけで終わらないみたいなことも結構増えてきているので、5委員会になってもいいのかなというふうには思っているところです。

中身についてなんですけれども、自民党さんが言っていた気候危機については、いいのではないかと。私たちも気候危機という話は出ていました。

行政のデジタル化というのについては、必要ないのではないかという意見も出ていました。

公明さんが、文スポにいろいろにぎわいプラスというようなことを言っていたんですけれども、これについては、確かに文スポというのは大事だけれども、ほかの部分もつけて、なくすのではなく、少し残すということもありではないかというような意見もありました。

保健福祉委員会が報告事項がかなりあるというところというところだと、新型コロナの感染症対策についての特別委員会みたいなのはありではないかという意見がありました。特に、保健福祉の報告事項は大体10個とか12個とかあるんですけれども、そこがコロナの所管が一緒に入っていると、ずっとそこに張りつきみたいになるんですよね。だから、そこは取り上げて別の機会に短期集中でやったほうが、現場の負担も少ないのではないかと

というような意見がありました。

道交の話についてなんですけれども、外環の沿線7自治体、恐らく全て、外環に関わる特別委員会を設置していると思いますので、それについてはやはり引き続き必要ではないかというところでは。

太田理事 会派で出てきているのは、気候変動の話だけです。それ以外は、別段何も出ていませんけれども。

新城理事 いのち・平和です。私たちのほうからは、先ほど自民や、今立無の方が出されました気候危機、温暖化対策、どちらでも名前はいいんですけれども、それは入れたほうがいいというふうな意見が出ました。

それから、先ほど山田さんも言いましたけれども、道交の部分については、外環が今大変重要な状況にあって、道交はぜひ残してほしいという意見です。

それからもう一つ、議会改革なんですけど、先ほど島田さんの御意見もあつたんですけれども、私は、例えば、ルールの中で、区民が請願・陳情を出したときに、それがかなっていけば不採択になってしまうというのは非常に残念な気持ちがあつて、あと、請願・陳情の審査率を高めるためにも、文書審査みたいなことが以前も議運かどこかで諮られたという記憶もあるんですが、それも含めて、高めるためにどうしていくかということもやっぱり議論の1つかなというふうに思っていて、議会改革は残したほうがいいんじゃないかというふうな意見がありました。

それから、先ほども出たと思うんですが、児相が今後、4年後に始まるということもあって、子供・子育てについて、そこで議論できるような場所が必要じゃないかなというふうな意見も出ました。

岩田理事 取りあえず、会派で出たものを羅列ということで。

まず、ほかの区議会も設置しているところから、ポジティブリストのうちで出たのは、1つは、これまでも出ているDX推進が出ています。それから、結構あつたところで、行革関連でも別にいいんじゃないかというのと、もう一つ、都市ブランド推進。これは、先ほどの島田さんの、文スポに観光を加えたらというのとかぶる面もあるのかなと思いますけれども、その3つが、他区議会でやっているところのものでは挙がりました。

その一覧にないところでは、2つほど個別に挙がってまして、1つは動物共生、それからもう一つは、議員定数検討というのが挙がっていました。

他自治体区議会のものの中で、ネガティブリストも2つほど挙がったんですけれども、特に今までほかの会派さんから出ていないので、それは今のところ差し控えます。

全体としては、うまくまとまればいいんですけれども、数の話もうちも出ましたけれ

ども、うまくまとまらないようであれば、あと1年なので、据置きでもいいんじゃないかというの意見としては出ています。

大泉理事 今いろいろ御意見伺いました。かなり重複するところもありますし、それぞれ課題意識を持たれているというところで御意見いただいたところもあろうかと思えますけれども、今私が伺った中では、比較的この中で共通しているのはDX。共産党さんからは、必要ないんじゃないかという御意見もありましたけれども、これをリストに挙げられていた会派が多かったのかなと。

また、同じく、気候変動といったところも比較的挙げられた会派が多かった。

その上で、まちなぎわいというところもそうですね。これは、文スポにプラスするような形でというところでしょうか。

外環については、道交が残るという前提の中で、外環への引き続きの調査というのは必要じゃないかという御意見があったかと思えます。

また、新たなところでは、保健福祉が非常に今報告事項も多いという中で、例えば、児相を中心とした子供・子育てというものを挙げてみてはいかがかというふうな状況であったかと思えます。

こういった状況で、今、例えばざっと挙げて4つぐらいが比較的重複する部分だったのかなと思えますけれども、事務局のほうとしては、ほかの自治体議会の状況と併せて、こういったところと重複するというのは。傾向だとかそういったもの、何か御意見ありますかね。

議会事務局次長 事務局で23区の中で調べた中で情報提供させていただきたいと思えますが、先ほど言われました、一番多かったDXについては、目黒と世田谷、中野、板橋、葛飾、江戸川と、かなりの区がもう動き出しています。議題の中でも、DXの取組だとか、今後どうやっていくのか、あと効率的にやっていくにはどうするかとか、意識の改革だとか、あとデジタルディバイド、区民としてそれをうまく使っていけるのかとか、それを使っていく側の意識改革とか技術とか、そういうところについても議題がありまして、そこを議論しているというような内容が見てとれました。

あと、気候変動、いわゆるSDGsに絡んでですけれども、調べたところだと、葛飾と江戸川が2つ動いているというような状況です。内容的にはちょっと乏しいんですけども、単体でSDGsだけではなくて、この中にDXをつけたりとか、シティープロモーションだとか、そういうのも併せて1つの委員会として運営しているというところが、その2区の中では見てとれるというふうな状況でございます。

大泉理事 今伺った中だと、DXであるとか気候変動、SDGs等々というのは、いわゆ

る今日的な課題というところで一くくりにしているというようなイメージなのかなとも思うんですけども、現実には、その都度取り扱う話題があっちに行ったりこっちに行ったりしないのかなという心配なんかもあるんですけども、そんなところまでは分からないですよ。特にどういうふうな扱いをしているかというのは。

議会事務局次長 DXに関して特化しているのは、そこに書いてあるように、板橋が、自治体DX調査特別委員会ということでDXに特化した形でやっております。それと、隣の中野区では、情報政策等調査特別委員会というところでDXを取り上げておりまして、これは教育の関係のGIGAスクールと絡めてICTの関係で取り上げているというような、特化したものについては、その2区が見てとれます。

あとは、公共施設の整備等の特別委員会とか、その抱き合わせでDXを議論して調査しているというところが見てとれるので、単体でというのは、中野区と板橋区あたりが、突っ込んだというか、深くやっているような状況です。

大泉理事 冒頭で申し上げましたとおり、次回お集まりいただくときには、今日こういったいろいろ出た候補の中から、各会派の皆さんの御意見を伺ってきていただくというところで、できればそこで方向性はある程度つけていって、その次あたりで、完全にこの方向で行こうというコンセンサスが得られればなというふうに考えています。今様々出たものは、例えば、これをリストアップして、重複した意見があった委員会はこういったものがあるよというようなリストを作ってください、これをまた各理事に配付をした上で、会派で協議をしていただくというような流れではいかがかなと思いますけれども、進め方について、何か御意見ありますか。

新城理事 先ほど出ましたけれども、数をどうするかということによって、どれを優先するかということで決まってくると思うんですよ。そこら辺は、スケジュール的にどういうふうにするのか。どういう場面で議論をして。そうじゃないと、何がというのが分からないなと今思っているのですが、そこはどうでしょうかね。

大泉理事 数については、事務局側としてはどうですか。4つでも5つでも、この会議の中でというようなところなんでしょうか。例えば、4つだったらどうだ、5つだと、メリット、デメリットはどういったことがあるとか、その辺のところはどのように。

議会事務局長 極めて現実的な話になるんですけども、一応、委員長報酬というのは4つ分しかないのという、そういう瑣末なことはどうでもいいとして、現状、数を例えば減らした場合に、議員の皆さん全員がどこかの特別委員会も入るという前提であるならば、先ほど山田理事もおっしゃったように、当然1つの人数が増える。その中で議論がどうなっていくのかなということもありますし、その辺の兼ね合いで、事務局として

は事務的なことは恐らく何とでもなるかなとは思っているので、中身次第で皆さんで、どうしてもこのテーマを集中的にやるからやっぱり5つになるんだとか、あるいは、まとめてやったほうが効率的だから3つでもいいとか、そういう話に集約していただくしかないのかなというふうには思います。

大泉理事 今ありましたとおり、予算的なところというのはもちろんあろうかと思えますし、具体的には、5つになれば会期の日程が1日延びるというようなことですよね。そういったものは見えてくると思いますがけれども、ただ、そうはいつでも、必要性があればというような御意見もあろうかと思えますので、先ほどのリスト的なものの中で御検討いただく上で、やっぱり5つにすべきだ、もしくは4つに収めるべきだということも含めて、会派で御意見を聞いてきていただくというようなことになるのかなと思うんですけれども、いかがですか。

島田理事 数は後からついてくるのかなと思います。一番問題なのは、常任委員会で非常に時間がかかっている総財と保健福祉、これをどうするかというのが一番大事かなと思います。

先ほどから気候変動についていろいろ言ってきていますけれども、これは環境部のメインテーマになってくると思うんですよね。私の考えでは、これを抜いちゃったら清掃しか残らないという感じすらするので、この辺は常任委員会でいいのかなと。やはり部の横断的なところで検討しなきゃいけないものをピックアップすべきなんだろうなというふうに思っていますので、常任委員会との絡みとか、その辺のことを考えてやらないといけないかなというふうに思っております。

岩田理事 いろいろ出てくる中で、うち、ネガティブリストが2個あって、今のところと言ったんですけれども、さっきそのうちの1つが出たので一応発言しますと、SDGsというテーマはやめようねと出ています。というのは、広過ぎる、全分野。基本構想で全部をひもづけているので、SDGsというテーマでやったら全部になっちゃって、専管組織があったりするなら別なんですけれども、そうでない現状で、それはちょっとテーマが広過ぎるからやめましょうねというのが出てきていたので。

大泉理事 確かに、今島田理事からありました、常任委員会で既にその関わりがある、所管があるという中に改めて特別委員会を設ける、その意味合いというのは全くゼロではないと思えますけれども、そのすみ分けをどうするかという話は当然あろうかと思えます。あくまでも調査研究という位置づけでいえば、具体的にまだ各自治体の政策等々で取り上げられてはいないけれども、そういったところの基礎となる調査をするような、そういった位置づけということも考え方としてはあるのかなと思うんですが、現実には、

重複するところをどうすみ分けられるかというところも考える必要はあるのかなど。その辺りがクリアになってくれば、その候補に入れるということについても、皆さんの合意でということだと思わなければならないけれども、そういったことも踏まえて、常任委員会との兼ね合いという視点も踏まえて御議論いただく。

数については、4つでも5つでも、これは後からついてくるというのはごもっともなところでもあろうかと思えます。なので、例えば進め方としては、DXに関しては、比較的、他自治体でも取組が進んでいるといったことで、今回理事会の中でも、御意見としては数としては一番多かった。なので、まずDXというものは1つ必要になってくるという前提で、DXとあともう一つという考え方にするのか、それもこだわらずに、まず全体の中で、今日リストアップしていただいたものの中で御議論いただいて、持ち帰ってきていただくのか。

私も、DXは、DXのみということじゃなくてほかと組み合わせるということ、情報政策推進というのがありましたよね、そういった考え方もあるのかなというふうにも思えますので、特にこの場ではどれか1つは確定みたいな形にはせずに、挙がったものをリストアップして、なおかつ考え方として、それを注釈か何かに加えて、そういったものを資料としてお作りいただいた上で、各党派で御協議いただくというような形ではいかがかと思わなければならないけれども、御意見、何かありますか。

岩田理事 うちも、いろいろ言いましたけれども、聞いていると、重複しているのって3つぐらいですかね。文スポの拡大版を入れると、重複しているのって多分4つぐらい。デジタル化と気候危機と、拡大版文スポみたいなものと、あと児相を中心とした子供・子育ての4つぐらいかなというふうな感じで聞いてはいたんですけれども。皆さんの御意見を聞いている中ではそう感じてはおりませんでした。

山田理事 岩田さんが言ったとおりで、たくさんあっても、なかなかまとめるのも大変だなと思うので、先ほどの4つぐらいと、現在あるものを組み合わせてどういうふうにするかというぐらいで絞ったほうがいいのかというふうには思っています。

うちは、DXについては、中に要らないんじゃないかという人もいますけれども、多くの皆さんが必要だというふうになるんだったら、やっていただくことには問題ないと思わなければならないので、そういう形で進めていければと思います。

大泉理事 では、そのほか御意見がなければ、今大体4つだろうというところと、既存の特別委員会を含めた中でどういう形に整理をするのがいいのかということ、次回までに会派の御意見を伺って持ち帰ってきていただくというような方向性でよろしいでしょうか。——じゃ、そのような形で進めたいと思わなければならないので、事務局には、お手数ですけ

れども、その資料作りをお願いしたいと思います。そういった形で、また引き続き協議をさせていただければと思います。

それでは、日程は以上となりますけれども、ほかに何かございますか。——なければ、本日の議会運営委員会理事会を閉会いたします。

(午前10時26分 閉会)